

感震ブレーカーを知っていますか？

東日本大震災や阪神淡路大震災など過去の大震災で発生した火災の6割以上が電気に起因する火災と言われています。大震災時の電気火災を防ぐには、揺れを感知して自動的に電気を止める「感震ブレーカー」の設置が効果的です。



感震ブレーカーとは？

地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に「配線用ブレーカー又は漏電用ブレーカー等」を遮断する器具をいいます。一般的なブレーカーは漏電には対応していますが、地震による火災対策には効力はありません。

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

(注) 住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。



詳しくは、ここをチェック！

内閣府・消防庁・経済産業省発行の資料

経済産業省ホームページ【参考リンク】

【感震ブレーカー普及啓発チラシ】

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/270105-1.pdf

重要！【感震ブレーカーを設置するにあたって（留意点）】重要！

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/270105-2.pdf